

幕末明治の写真師列伝 第四百十三回 宮下欽 その六十一

● 寫眞業

名古屋市本町三丁目

宮下 欽
宮下 守雄

赤十字社員 表忠會員 大日本寫眞品評會

名古屋支會副會長

欽氏は信州松代藩士にして戊辰の役官軍大砲一門の長となり奥羽征討の軍に従ひ事平て後戦功により永世賞典祿三十八石と分賜せらる明治五年より東京に遊び我國寫眞術の鼻祖たる横山松三郎氏に就て寫眞術を研究し明治十二年三月我名古屋現任所に開業せらる守雄氏は東京九段鈴木真一の門に入り寫眞術研究廿四年卒業家に歸り父欽と共に業に就て明治廿七八年の役近衛兵として征清并に討台の軍に従ひ所々轉戦平けて後戦功により勳八等瑞寶章並に金五十圓を賜へり
二氏共に我名古屋寫眞業中屈指人と云ふべし

小林儀三郎著『中京繁昌記』第1卷（山陽館、明治30年[1897]）。

これでは宮下写真館の住所は、「名古屋市本町三丁目」とある。

京町小	橋本	茶町守	徳島	本町花	豊橋
東町土	長崎	下町京	徳島	本町東	豊橋
本町山	安曇	本町同	徳島	本町文	豊橋
本町八	徳島	本町紙	徳島	本町早	豊橋
古渡町	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋
京町一	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋
廣井	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋
徳島町	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋
末廣町	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋
玉屋町	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋
富澤町	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋
末廣町	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋
末廣町	徳島	本町丸	徳島	本町山	豊橋

愛知県農会編『愛知県独案内』（愛知県農会、明治33年[1900]発行）

これでは宮下写真館の住所は、「末廣町 宮下（寫眞）」とある。

博覽會肖像館掲載寫眞御申込期限
出品人 三月廿一日迄延期す
割引の特約致し候間至急續々御申込を乞
第五回博覽會出品人記念肖像館急告
名古屋事務所宮下寫眞館
同市末廣町
同市大須公園水谷鏡第一寫眞場
同市南外堀町水谷鏡第二寫眞場

「博覽會肖像館掲載寫眞御申込期限
出品人 三月廿一日迄延期す
寫眞館新調諸君の便利上左の三家にて大
割引の特約致し候間至急續々御申込を乞
第五回博覽會出品人記念肖像館急告
名古屋事務所宮下寫眞館
同市末廣町
同市大須公園水谷鏡第一寫眞場
同市南外堀町水谷鏡第二寫眞場」

明治36年（1903）3月11日『新愛知新聞』広告。
これでは宮下写真館の住所は、「名古屋事務所 末廣町」とある。

(森重和雄)